

大切な財産を詐欺から守ろう。高齢者を狙った特殊詐欺の被害防止につなげようと、今春に川崎医療福祉大(倉敷市松島)を卒業した朽木萌々加さん(22)が啓発DVDを作った。後を絶たない詐欺の被害状況や手口を、寸劇などを通じて分かりやすく紹介。県消費生活センター(岡山市北区南方)で貸し出している。(信定佑紀)

川崎医福大 今春卒業の朽木さん

啓発DVD 卒論で制作

詐欺から財産守ろう



作成したDVDを手にする朽木さん。「手口や相談先を知って被害を防いでほしい」と思いを語る

朽木さんは、同センターのセミナーなどで講師として寸劇を通じた啓発活動を展開し

している。2枚目には巧妙な手口を再現した寸劇などを収録。金融機関職員などを装いカードや通帳を直接だまし取る「預貯金詐欺」▽機能を失わない程度にカードに切り込みを入れて回収する「キャッシュカード切り込み詐欺」▽隙を見て偽物とすり替える「キャッシュカード詐欺盗」について、高齢者を周到にだまし信じ込ませる様子を演じ、復習のクイズも付けた。

いた。新型コロナウイルス禍で出番が限られる中、「この状況下でも高齢者ら地域住民に幅広く発信したい」と卒業論文のテーマとしてDVD製作に取り組んだ。自身やゼミの同級生がお年寄り、加害者に扮して出演した。

DVDは2枚組。1枚目では県内の特殊詐欺を巡る現状を報告。過去10年の被害発生状況、昨年も3億円を超える被害があったことなどを説明

している。同センターで7組を貸し出している。「分かりやすくまとめてくれ、親しみを持って見てもらえる」と渡辺佳苗所

ゼミ生出演 現状や手口 寸劇で紹介

長。朽木さんは「被害金額が信じられないほど大きく、人ごととは思えなかった。全く同じ流れとは限らないが、手口や相談先を知り被害防止につなげてほしい」と呼び掛けている。

4月から県外の病院で医療事務として働く。「対象者の立場になって考えてきた」というゼミの活動を踏まえ「病院はいろいろな立場の人が訪れる。相手と同じ目線になって考えられる医療従事者になりたい」と抱負を語った。

問い合わせは同センター(086-2226-1019)。